

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	高村真広	所属	広島大学
研究会等名称	機械学習，深層学習の心理学応用研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数（会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください）</p> <p>会員 2 名（うち認定心理士 1 名）※ 非会員 0 名（うち認定心理士 0 名）※</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 （実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください）</p> <p>近年、急激に発展する機械学習，深層学習モデルは心理学にも大きな影響を及ぼすと考えられ、これらのモデルの心理学への応用可能性を検討することは急務である。とりわけ、自然言語処理モデル BERT の性能は翻訳，要約，QandA など複数課題で人間を凌駕する課題成績を示したことから、自然言語処理モデルを用いた心理学応用への幅広い応用が想定可能であることを意味していると考えられる。心理学者に上記モデルを含む基礎知識を共有し，議論する場を設けることが肝要であると考え本研究会を企画した。</p> <p>そうした試みの端緒として、心理学者に基礎知識を広く共有することを主な目的に、日本心理学会第 84 回大会のチュートリアル・ワークショップとして研究集会を開催した。オンラインでの開催であったため人数と属性の集計はできなかった（※）。</p> <p>チュートリアル・ワークショップは、動画による講義形式と、研究集会のために作成したポータルサイト上でハンズオン材料を提供する形式で行った。講義においては、まず、自然言語モデル BERT に至る流れとしくみについて基礎から解説を行った。また、BERT 等自然言語モデルの発展が心理学にもたらす影響に関して、認知心理学、発達心理学、社会心理学、臨床心理学への影響という観点から考察を行った。ハンズオンでは、実行環境の基礎的な解説から、BERT やその基盤となるアーキテクチャを学習し、実行する材料を提供した。</p> <p>本研究集会を通じて、発展の目覚ましい自然言語処理分野の知見が心理学研究の問題設定や解析手法としての活用を活性化するきっかけとなり、関連する心理学諸領域の発展を促すことが期待される。今後は、さらに発展を続ける機械学習、深層学習の動向を紹介、解説する場を設けるとともに、より将来には、これから充実が期待される、自然言語処理モデルを活用した心理学研究の成果にもとづいて議論を行う場を設けることが可能であると考えられ、最先端の自然言語処理モデルの日本の心理学における貢献を評価、活用の促進が期待できる。</p>		

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
機械学習，深層学習の心理学応用研究会				
研究集会開催日： 2020年10月10日(土)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	高村真広	広島大学 脳・こころ・感性科学研究センター	○	○
2	浅川伸一	東京女子大学	○	
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

(様式5)

2021年 3月 31日

日本心理学会研究会

年度会計報告書

研究会名称 機械学習, 深層学習の心理学応用研究会

研究会番号 20022

助成金額 ¥40,000

年月日	項目	金額
2021年3月31日	返金 (日本心理学会)	¥40,000

支出合計 ¥40,000